

令和2年度事業報告

1. 地域活動団体に関する育成・支援事業

(1) 共通テーマによる全国活動の支援

「食を通じた子どもの居場所づくり」をテーマとして、子ども食堂12団体、子ども宅食3団体、フードドライブ15団体、学習支援2団体、放課後児童クラブ4団体、世代間交流2団体、親子料理教室2団体、合計40団体に対して活動経費の助成を行った。

(2) 生活学校・生活会議への支援

①活動への支援

- ・「全国的な課題」に取り組む、生活学校3校、都道府県生活学校連絡会1団体、生活会議1団体に対して活動経費の助成を行った。
- ・「政策提言」に取り組む、都道府県生活学校連絡会2団体に対して活動経費の助成を行った。

②組織強化への支援

- ・新規に開設された生活学校4校及び開設2年目の生活学校3校に対して活動費等の支援を行った。
- ・新規校開設実現に尽力した生活学校2校、都道府県生活学校連絡会等2団体及び開設実現2年目の都道府県生活学校連絡会等3団体に対して経費支援を行った。
- ・今後の運動の担い手として20代から50代までの若手メンバー加入を促進し、加入実現した生活学校5校（8人加入）に対して経費支援を行った。

③研修

- ・「地域活動アドバイザー研修」「生活学校リーダー研修」「新規校研修」はコロナ禍により中止とした。

④ネットワーク化

- ・生活学校のネットワークづくりのための「生活学校メーリングリスト」を運営した。
- ・生活学校・生活会議・他団体のネットワークづくりのための「地域づくりメーリングリスト」を運営した。

(3) あしたの日本を創る運動推進への支援

25の都道府県生活学校連絡会・都道府県協議会に対して、当協会の事業説明会の開催経費支援を行った。

(4) 全国生活学校連絡協議会への活動支援

「全国生活学校連絡協議会」に対する活動の支援を行った。

2. 地域活動に関する情報の収集及び提供事業

(1) 情報誌「まちむら」の発行

日本宝くじ協会助成事業

自治会・町内会情報誌として年4回発行した。

(2) 新あした通信の発行

生活学校・生活会議に対して助成案内や全国運動の報告、表彰者の紹介等を行うための新あした通信を送付した。

(3) インターネットによる情報の提供

ホームページおよびメーリングリストの運営により地域活動に関する情報提供を行った。

3. 地域活動に関する顕彰事業

(1) 活動団体の顕彰—あしたのまち・くらしづくり活動賞の実施—

「あしたのまち・くらしづくり活動賞」を、読売新聞東京本社及びNHKと共催して実施した。220編の応募の中から内閣総理大臣賞1団体、内閣官房長官賞1団体、総務大臣賞1団体、主催者賞5団体、振興奨励賞20団体を選び、顕彰した。

(2) 叙勲及び運動推進功労者・優れた活動団体の顕彰事業

春に1名、秋に1名叙勲された。また、あしたの日本を創る運動の推進において、他の模範となる顕著な活動実績を挙げた5名に対して内閣官房長官表彰が贈られた。また、活動の推進に尽力した3団体、6名および長期運動実践者7名に対して、会長表彰をもって顕彰した。

(3) エイジレス・ライフ実践者及び社会参加活動事例の推薦と受章

内閣府実施の「エイジレス・ライフ実践者」(個人)「社会参加活動事例」(団体)を紹介する事業に対して推薦し、1名の活動が全国に紹介され、社会参加章が贈られた。

4. 地域活動に関する各種集会等の開催事業

(1) 生活学校・生活会議運動全国大会の開催

「全国大会」はコロナ禍により中止とした。

(2) ブロック研究集会の開催

「ブロック研究集会」は全国5ブロックにおいてコロナ禍により中止とした。

(3) 自治会・町内会講座の開催

「自治会・町内会講座」はコロナ禍により中止とした。

5. 地域活動に関する相談・助言事業

(1) 地域活動に関する相談・助言事業

- ①「相談室」において、活動テーマの設定、活動資金の確保策、生活学校の運営、新規メンバーの参加や後継者育成等の個別の相談に対応した。
- ②地域活動団体や地方自治体の担当者からの、地域活動の先進事例や専門家についての照会・相談に対応した。

(2) 地域活動データベース

地域活動に関する問い合わせに対応するための活動事例や講師等の人材情報、生活学校のデータベースをホームページ上で公開し一般の利用に供した。

6. 国民の祝日に関する普及・啓発事業

「国民の祝日」の意義、趣旨等が、さらに広く青少年に周知、理解されるよう「国民の祝日とは」を発行した。

7. 食品ロス削減家計簿手帳の配布事業

市区町村を中心に「食品ロス削減家計簿手帳」18,134冊を配布し、食品ロス削減の啓発を行った。